



アーティスト・イン・レジデンス派遣事業

Theaterfestival Basel (スイス) レジデンスプログラム watch & talk に参加する

アーティスト募集

応募期間

2020年6月17日(水) 受付開始 6月30日(火) 締切必着

セゾン文化財団では日本を拠点に活躍するアーティストの国際文化交流活動の活性化を目的とし、スイスの演劇祭 Theaterfestival Basel がフェスティバル期間中に開催するアーティスト・イン・レジデンス watch & talk に1名のアーティストを派遣します。watch & talk はスイスの大手小売企業ミグロスの文化支援事業「ミグロス・カルチュラル・パーセンテージ」の協力を得て開催されます。スイス国内外から若手アーティストやドラマトウルクが参加し、期間中、共にパフォーマンスを見て、議論、分析、考察し、将来の作品のための糧となる経験を積む機会が提供されます。自身の創作活動を高めるチャンスを意欲的に求めるアーティストを募集します。

※フェスティバルの開催については、現地で前向きに検討の最中であり、現在の状況では、日本からの派遣を約束することはできません。各国で出入国規制緩和の検討を始めたことなどを鑑み、フェスティバル側との協議のうえ、日本からの派遣の準備を進めることになりました。

Theaterfestival Basel
26.8. – 6.9.2020

Wir spielen! Programmpreview ab 17. Juni 2020 auf theaterfestival.ch

Kaserne

Lokal

12. + 13.6.

Alle Infos auf www.kaserne-basel.ch

1. 滞在期間・場所

2020年8月26日から9月6日までの間の12日間滞在
ただし8月25日(到着)、9月7日(出国)
バーゼル [スイス]

2. 支援内容

- 往復の航空運賃(最寄りの空港から現地の空港まで)
- 滞在期間中の宿泊施設
- 日当: 50€ / 1日 × 12日 = 600€
- セミナー期間中に鑑賞する公演チケット
- 滞在中のサポート、アドバイス

3. 応募条件

- 日本に活動拠点を置く演劇、舞踊分野のアーティスト
- 原則、35歳以下。プロフェッショナルとして作品発表の経歴があること。
- 英語によるディスカッション、対話、リサーチに支障のない英語力があること
- 滞在終了後、報告書を watch & talk(英語)およびセゾン文化財団(和文)に提出すること
- スイス入国に有効なパスポートをすでに所持していること

4. 応募期間

2020年6月17日(水)から6月30日(火、必着)

5. 応募方法 ※申請書交付の申込みが必要

申請書の交付を e-mail で [residency@saizon.or.jp] 宛にお申込みください。e-mail の件名は「シアターフェスティバル・バーゼル watch & talk 申請書交付申込み」とし、下記の必要事項を記載ください。

- ① 申請者名(渡航者)
- ② 職業(劇作家、演出家、振付家等)
- ③ 書類送付先住所
- ④ 電話番号(日中連絡がつくもの)
- ⑤ e-mail アドレス(添付ファイルが受け取れるアドレス)
- ⑥ 今回の情報をどこで知ったか

6. 申請書提出

2020年7月1日(水)から7月8日(水、必着)までに申請書を、e-mail で [residency@saizon.or.jp] 宛にお送りください。

なお、申請書は英語でご記入ください。

7. 選考・選考基準

事務局にて申請書に基づき、候補者を選定し、2020年7月中旬までに採否いずれの場合も申請者に通知します。

選考基準

- 独創性: 申請者の活動および参加目的が独自性を有し斬新な発想が認められる
- 将来性: 申請者の将来性が期待される
- 適時性: アーティスト・イン・レジデンスへの参加によって申請者の今後の成長、活動の展開において新たな契機となることが予想される
- 影響力: 演劇、舞踊のみならず、他分野の芸術家の創造性への刺激、また活動/企画が広く社会的影響力をもつことが期待される
- 実現性: アーティスト・イン・レジデンスに12日間滞在することができ、対話やリサーチに支障のない英語力がある

シアターフェスティバル・バーゼルについて

シアターフェスティバル・バーゼルは、1991年から、隔年に一度開催される国際舞台芸術フェスティバルです。バーゼル市内のアート・プロジェクト、ダンスや演劇作品、パフォーマンス、ヌーボー・シルク、インスタレーションまで、様々なジャンルの作品を上演しています。バーゼル市とその周辺の Kaserne Basel, ROXY Birsfelden, Theater Basel, neuestheater.ch junges theater basel などを会場に12日間にわたって開催され、観客に新しい演劇の形や物語の発見を提供しています。2020年度のフェスティバル・ディレクターは、2008年~2017年にチューリッヒ・テアタースペクターケルの芸術監督を務め、チェルフィッチュ、庭劇団ベニノ、快快、革命アイドル暴走ちゃんを招聘したサンドロ・ルーニンです。

URL: <http://www.theaterfestival.ch/en>

セゾン文化財団について

セゾン文化財団は堤清二氏(1927-2013)の私財によって設立された助成型財団です。1987年より日本の現代演劇・舞踊の振興および国際交流の促進に寄与するため助成活動を行っています。

提出・お問い合わせ

公益財団法人セゾン文化財団 京橋事務所

「シアターフェスティバル・バーゼル watch & talk」係

〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル4階

Tel: 03-3535-5566 Fax: 03-3535-5565

Website: <http://www.saizon.or.jp> E-mail: residency@saizon.or.jp

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、派遣の日程の変更や事業が中止となる可能性があることをご理解いただくようお願いいたします。

今後のアーティスト・イン・レジデンスの公募スケジュール

- 日本・イタリア・フランス・台湾・香港ダンス交流事業「Museum of Human E-Motions」のデジタル・レジデンシーに参加を希望する振付家を募集します。2020年6月下旬に公募予定です。
- 日本でのリサーチを支援する「Visiting Fellow 2020」に参加を希望する海外の芸術家やアーツ・マネージャーを募集します。日本側からのご紹介、推薦も可能です。2020年秋に公募予定です。

※公募は今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて開始いたします。詳細は、当財団のウェブサイト、<http://www.saizon.or.jp> をご覧ください。